

乳癌初期治療における化学療法誘発性無月経と月経再開の検討に関する研究 のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2022年12月6日～2023年12月31日

〔研究課題〕

乳癌初期治療における化学療法誘発性無月経と月経再開の検討

〔研究目的〕

閉経前乳癌女性において化学療法の影響で無月経となることが分かっています。化学療法後に月経再開することがあるが、どのような患者さんで再開するかは分かっていません。また無月経となった後や月経再開した後の最適な術後ホルモン療法についてもはっきりとしません。そこで化学療法後の無月経から月経が再開する患者因子を明らかとします。また月経再開が予後に与える影響についても明らかにします。

〔研究意義〕

化学療法後に無月経となった患者さんの最適なホルモン治療の選択の一助となることや、また若年の患者さんの場合には妊孕性の回復の目安の一つとなる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2006年9月から2021年8月までの期間に帝京大学医学部附属病院で手術を行ったホルモン受容体陽性HER2陰性の閉経前乳癌の患者さんを対象とします。診療録(臨床データ、画像データ、病理組織所見等)を参照しデータを解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報に十分配慮し、情報の加工を行います。研究終了時に情報を帝京大学臨床研究センターに提出し、帝京大学臨床研究センターにて10年間保管の後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 池田達彦 職名 帝京大学医学部 外科学講座 講師
所属: 帝京大学医学部 外科学講座/帝京大学医学部附属病院 外科
住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1231(代表)